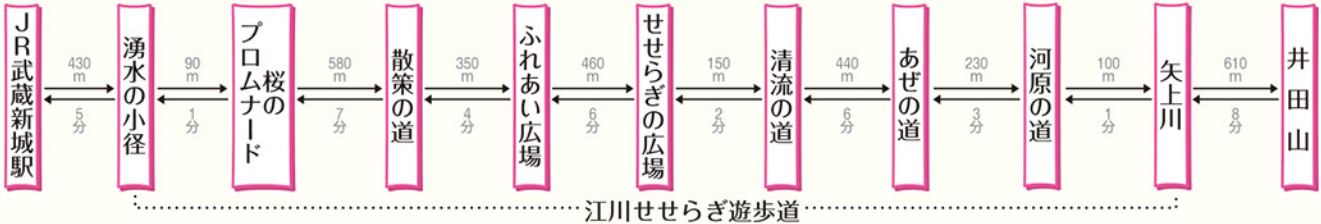


5 江川せせらぎ遊歩道と市民健康の森散策コース 全長3.4km時間43分



新城駅と井田山を結ぶ「江川せせらぎ遊歩道」をたどるコースです。地域住民が維持管理しており、そんな人々との出会いもあります。また、せせらぎの地下には雨水の貯留管があり、付近を集中豪雨から守る役割をはたしています。

コースの説明

区の花パンジーとシクラメン (MAP C-4)

東京近郊の地の利を活かし、上・下小田中を中心に花卉栽培が行われています。この散歩コース沿いの下小田中に一歩足を延ばせば、11月～1月には赤・黄・青・ピンクと色とりどりのパンジー畑や温室のシクラメンが見る人の心を癒してくれます。地掘や直売を楽しむこともできます。



パンジー農家

井田山・中原区市民健康の森 (MAP C-5)

井田病院に隣接した井田山は、中原区内に残る数少ない里山の風景を楽しむこもりとした雑木林です。地域の人たちの力で開発から守られ、2001年から市民健康の森として整備されています。今では、2つの池もあり、小魚が泳ぎ、トンボも姿を見せます。池の水は江川と同様、矢上川に注ぎます。夏には賑やかなセミの声も聞こえ、秋の落葉の鮮やかな絨毯も見事です。



井田山



安楽寺 (MAP C-3)

室町時代の天文初期建立の安楽寺は、明治18年宗澤文山和尚の代に15～25歳を対象とした中等教育の「私立時習学校」を創りましたが、昭和18年に廃校となりましたが、中原村はもちろん、東京・群馬・福井などから留学し、学んだ卒業生は3500余人を数えます。



江川せせらぎ遊歩道 (MAP B2～C-5)

江川は矢上川の支流で中原区と高津区の区境を流れており、2003年には地域の人々と川崎市を取り組みで、素敵なせせらぎが流れる遊歩道が開設され、朝夕には散歩やジョギングをする人々が集う憩いの場所になりました。コイやフナが泳ぎ、カルガモ、サギも訪れ、夏にはザリガニ釣りで賑わいます。秋には『森とせせらぎ祭り』が町会や学校の協力で盛大に開催されています。

